

# 2年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に音読に取り組むことで、言葉に着目して内容の大体を読み取る力が付いてきた。</li> <li>・隙間時間などに読書をする機会を設けることにより、読書が好きな児童が多くなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎組み立てを考えて文章を書くことや、句読点などの書くときのきまりが定着していないこと。</li> <li>・漢字の読み書きや自分の考えを書くことに個人差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」の学習過程における各段階、「書きたいことを見付ける」、「メモにする」、「メモを基に書く」を丁寧に指導し、書く力を高めていく。</li> <li>・自分の考えを書くときは、視点を与えるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な計算技能を身に付けている児童が多い。</li> <li>・自分の考えをノートに書くことができるようになり、すすんで挙手をする児童が増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を早く終えようとして、確認が不十分なところがある。</li> <li>・長さやかさなどの数量関係の定着が不十分である。</li> <li>◎量の感覚が十分身に付いておらず、それを基に自分の考えをもつことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えの理由を、問題の中の言葉から見付けたり、図や式にして表したりすることができるように、ノート指導を行う。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花や野菜の栽培、生き物などを大切に育てたいという思いをもつことができた。</li> <li>・1年生との学校探検を行うことにより、責任感をもって学習に取り組むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「作り方を教えてほしい」など、すぐに答えを求めてしまうこともあるため、自分なりに物の機能を理解しながら工夫する楽しさをもたせる。</li> <li>・育てている花や野菜の栽培、生き物などに対して自分の思いを自由に表現したり、気付きを深めたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の目的を全員が明確にもつことができるように、導入時に丁寧に説明する。また、活動に対する意欲を高めるために、児童の思いや願いが生きる場面を各単元の中に取り入れるなどの工夫をする。</li> </ul>

<h1>音楽</h1>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に歌ったり体を動かしたりして、楽しさを感じながら音楽活動ができる児童が多く見られる。</li> <li>・リズムや拍の流れを感じることができるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎周りの音に合わせて演奏したり、拍の流れに乗って演奏したりすること。</li> <li>・曲を聴いて感じたことを、言語で表現することが苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拍子についての学習を徹底し、リズム学習を取り入れるなど、体を動かすことで拍感を身に付ける。また、合奏するときには、ピアノや打楽器の音をよく聴いて、周りの音に合わせて音を出す練習を重点的に行う。</li> </ul>
<h1>図工</h1>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がつくりたいもの、表現したいものを思い浮かべて発想を広げ、楽しく取り組む児童が多い。</li> <li>・鑑賞することを楽しみ、友達の作品の良さや工夫に気付く児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎発想や構想には個人差があり、自分の思いを表すことに自信がなかったり、やることの理解に時間がかかったりし、なかなか制作に取り掛かれない児童が見られる。</li> <li>・意欲を持続させ、最後まで粘り強く取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作の過程の中で、個々の児童へのひらめきや表現を肯定的に受け止め、称賛する声掛けをし、自分らしさへの自信につなげていく。</li> <li>・追加材料や、工夫のヒントになる手だてをスモールステップで示す。</li> </ul>
<h1>体育</h1>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かすことを楽しんで取り組むことができている。</li> <li>・体づくり運動では、バランスをとる運動あそび、用具を操作する運動あそびなど、様々な動きの技能を身に付けることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動経験に差がある。</li> <li>◎友達が工夫したところや良いと思ったところを見付け、表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードに自分や友達のよさを記入する欄を設け、記入させる。また、授業の中で運動を見せ合う場を作り、互いのよさに気付かせるようにする。</li> </ul>